



よしだつうしん
吉田通信

第112号
【2024年1月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆事業の継続性◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第112号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

まず、この度の令和6年能登半島地震で犠牲となられた方々にお悔みを申し上げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、1月1日16時10分、私は家族と家にいました。遅めのご飯を食べ終わり、ちょっとお酒も飲んでいました。突然、スマホから緊急地震速報の警報音が鳴り、強い横揺れが。家族はすぐにテーブルの下に隠れ、私は急いで扉を開けました。長い長い横揺れ。一気に酔いも冷めました。

SNSで幹部と連絡を取り、しかし、全店お休みにしているお正月の夕方。特別できることはありません。状況がはっきりわかるのは翌日です。

例年、吉運堂は1月1日をお休みとし、2日から店舗の営業をしていました。ただ、今年から2日もお休みとし、3日から営業としていました。なので2日は全員お休みです。ところが、私が2日の朝に本店に行ってみると、すでに何人かの社員が来て片付けをしてきていました。

2日はまず全社員及びそのご家族が無事か確認。住まいの損壊等はなく、また幸いなことに全員が無事でした。その後、全店の状況を確認。それぞれのエリアの責任者から報告をもらいました。灯籠が落ちた等あり、2日、3日ですぐに対応。また、3日からはお寺様から「宮殿の一部の柱が外れてしまったのでなんとか補修してもらえないか」といったお電話が来るようになり、対応可能なものから順次対応させていただいております。



新年早々にまさかの出来事で会社の代表として事業の継続性というものを改めて考えさせられました。1月1日、2日から災害が起きて社員にすぐ出てくるようにはなかなか言えません。今回、出てきてくれた社員には手当をちょっと出しましたが、本当にまさかという事態が起きたときにどうするか。それも1月1日に起きたら。すぐに答えは出そうにありませんが、考えないといけないと強く思いました。

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます。さて、昨年11月に発行いたしました吉田通信第110号で「私個人のDX化が進んでおらず、2017年に発売されたiPhoneXをまだ使っています。今年中に最新のiPhoneに買い替えたいと思っています」と書かせていただきました。その後、年末に最新のiPhone15に買い替えました。使い勝手は良いのですが充電の差し込み口がタイプCへと変更しており、若干の不便を感じております。吉田竹史

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前:吉田 竹史(よしだ たけし)
生年月日:昭和40年8月21日(O型)
出身地:新潟県白根市(現・新潟市南区)
経歴:都内の学校を卒業後、証券会社(水戸&ニューヨーク)の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味:上手くないゴルフ、強くない将棋
(NHKの将棋対局を見ることは好きです)
家族構成:妻、娘、息子



吉田 竹史